



外面の良

ソトヅラノイイオサナナジミ

オサナナジミ
幼馬川
決木

なんじや
希に聞こえ
やうよ

あ、
当の思い
にたがっ
てたがっ

喘ぎすぎ

ほち

大学生なんだから

兄貴は
過保護すぎ

おっ

おっ

Attention

※基本的に行為描写は強制/無理矢理です。

※寝取り寝取られに近い要素があります。

※3P描写はありません。

※全体的に暗めな内容です。





相変わらず
ビジュアルえぐー

同じ大学に通う

私と
同年の
高良
祐希

彼の
一つ上の兄
高良
明希

高良兄弟と
よく噂の的になる
この二人は

私 さえき 佐伯 芽衣の
幼馴染だ

芽衣！

明希

今日はもう
授業無い？

一緒に
帰らない？

…あ

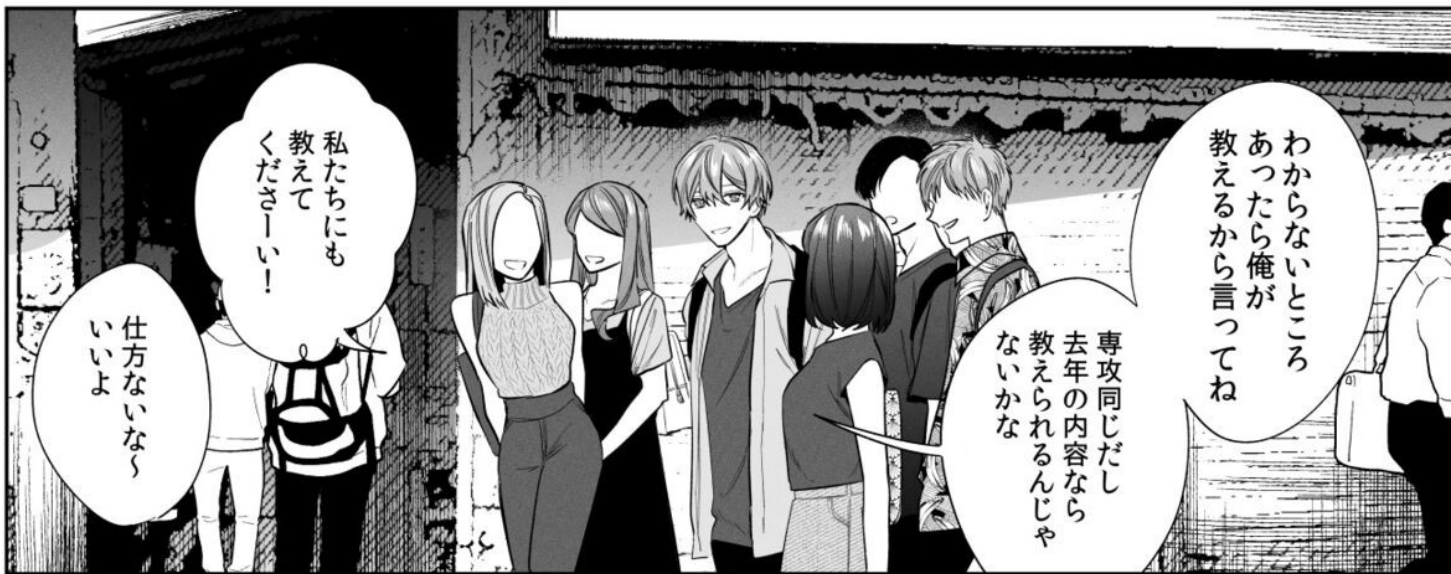
もしかして友達と
予定あった？

いえ！
途中まで一緒に
帰ろうと
してるだけで

むしろ
一緒にどう
ですか？

そう？なんか
割り込んでやって
ごめんね

じゃあ俺も混ぜて
もらおっかな



明希は容姿端麗
成績優秀

誰にでも優しいし
愛想が良い

みんな口を
揃えて言う

王子様みたいだねって

でも――





気づいてた？

芽衣さあ…

今日一緒にいた男が
芽衣のこと
チラチラ見てたの

しらっ…
な…

そんなんじゃ
駄目じゃん

もうこんなに
女の顔できるんだから





こんな関係
いけないんだって
思いながら

芽衣に気がある
男たちがさあ…

芽衣が俺に
こんなふう
に犯されてる女
だって知ったら

なんて思うかな

時が経ち



こんな顔も

知ってるのは
俺だけなんだから



芽衣の
弱いところも

はっ
な



いつしかこれが

そんな顔して
感じちゃって

当たり前に
なっていた



可愛いね

芽衣





祐希の家
初めて上がるな…

流れて付いて
きちやっただけ

だからなんで
俺の家なんだよ…



高良のお兄さんの部屋
隣なんだっけ？

芽衣も同じ
アパートだよー

幼馴染で同じ大学通って
同じ建物住んでんの!?

ほんと仲いいわ

私たち3人は
同じアパートに
住んでいる

でも祐希とは
大学に入ってから
あまり話さなくなった

あんまり話さな
いんだよ。

元々口数は少ない
人だったけど…



明希とそういう関係になつてから気まずくて余計に話さなくなつちやつた

祐希が私たちの関係を知つたらきつともつと離れていつちやうよね

…子供の頃は沢山遊んだりしたのにな

それは少し寂しい



昔に戻つてやり直すことができたなら

あれ？
芽衣それ何杯目？

いいねー
もう一本いく？

今頃3人で笑つて楽しく過ごせてたのかな

なんて考えることはよくある









つか普通に
隣の部屋だし分かる

芽衣の声
だったのも…

ギョッ



ない…

祐希…
酔ってる…?



あ…あの…
祐希も酔ってる
みたいだし

私…もう
行ったほうが…



兄貴と
付き合ってるの?

付き合っては…





なにをッ



んっ...



!?



っ...



声...
聞かれてもいいの?

兄貴
隣いるから...







あー…

今使ってるわ

自分のやつ
ゼミ室に
忘れたみたいでさ

借りれない
かなと思って

そっか
今日はもう
課題やるの
諦めるかなあ

…あとさ

芽衣今日
家帰ってないっ
ぽいんだけど

どこいるか
知らない？

は？
ていうかなんで
居ないって
分かん

いや…
さっき家寄ったけど
出なかったから

知らないし

兄貴は
過保護すぎ

大学生なんだから
友達の家に泊まったり
あるだろ

…だよ

そうだよ



もう子供の頃とは
違うんだし

…誰かいる？

…いないけど

アッ
ッ
ッ

ビク
ビク
ビク

ビクッ



怖いこと
言うなよ

幽霊とか
脅かすつもり
ないって

急に電話して
ごめんね

じゃー
また学校で

ほっ
ち

おっ
ろ

ガッ

ッ
ッ
ッ
ッ
ッ

おっ
ち

ッ
ッ
ッ

通話終了

…危なかったね

でも我慢
できたじゃん

ゆき…

ど…して…

こんなこと…

どろろろろ…

ッ！

ぬちっ

わかんない？

ぐわわわわ

ええええ



兄貴が先に
知ったんだと思うと
どうにかなりそうだ



俺だけが見れる顔
してくれない？

どうやったら
見せてくれる？











あ
そうだ

コンビニの
新作スイーツさ
昨日買ったのが
ウチにあるんだ

この前芽衣が
美味しそうって
言ってたやつ

食べに来ない？

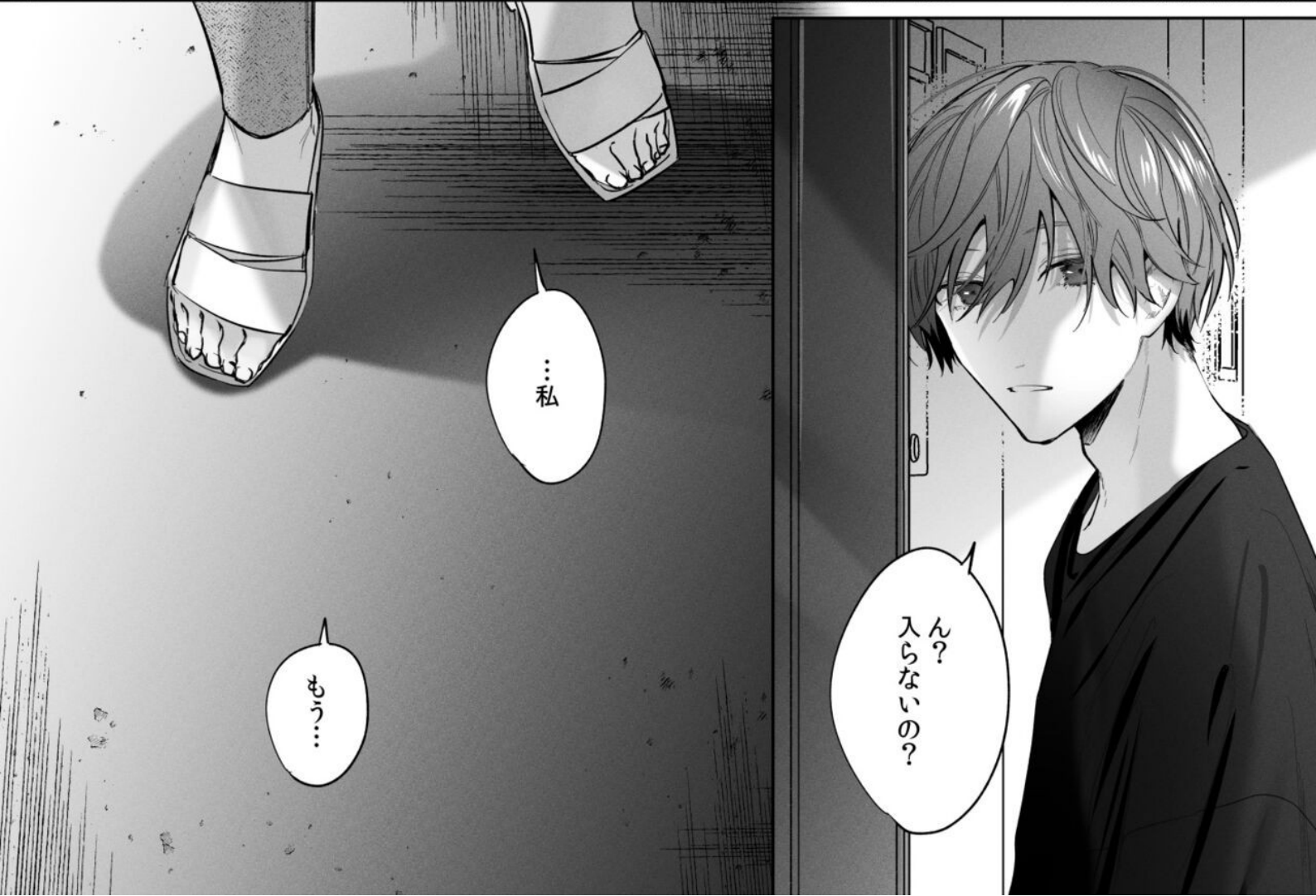
少しは気も
紛れるかもしれないし



ね？



っ……





明希とは
そういうことはしない

恋人でもないのに
おかしいって…

思う…

から…



でも
これが

正しいはず

あーあ

い…言った…



なに？

っ…！

祐希に
毒されちゃった？

なに…

を…



昨日は

上手く
隠し通したつもり
なんだろうけど



言って…

祐希は俺と比べて
どうだった？



芽衣のことは
なんだって分かるよ？

あ
か



ハッハッ

入り口の
浅いところ

お腹に向かって
突かれるのも
好きだよね？

芽衣の気持ちいい
場所は全部わかるよ

絶対に逃して
あげない…

もう
何度もこの味を
知った俺たちは

結局前の関係に
戻ることなんて
できないんだよ







祐希より
気持ちいいでしょ？



ねえ
祐希はどんなふう
してくれた？



どうしていつも俺は

あー！
くそ



芽衣の両親は
芽衣が中学生の時に
亡くなった



祐希と比べたがる



芽衣は俺たちが守る

純粋な正義感は

いつしか
形を変えて――

大学行ったら
一人暮らし
する!?

危ないよ
絶対

おばさんに
これ以上迷惑
かけられないし...

...じゃあ俺
芽衣と同じ
アパート住んで
やるよ

はあ?
じゃあ俺も
同じとこ住む

祐希が芽衣に
好意を抱いている
ことは昔から
気づいていた

芽衣

俺が大学生に
なっても
二人は高校生

祐希

その差は
埋められない

芽衣も
祐希のことを...
なんて焦った俺は

この関係に持ち込んだ

でも
そんなことを
しても

今だって芽衣の心には
自分はいないんじゃないかって

本当の想いを
伝えたら

今の関係さえ
終わってしまう
のではないかと

これ以上先に
踏み出せないで――



あの二人が
そういう関係だと
知っても



俺だけを
見て欲しいと

欲望に縋った
あの光景が頭に
焼き付いて離れない

あんなに最悪な
ことをしたのに



芽衣への好意は
変わらなかった

この感情は
内に留めておけばいい
そう思っていたけど

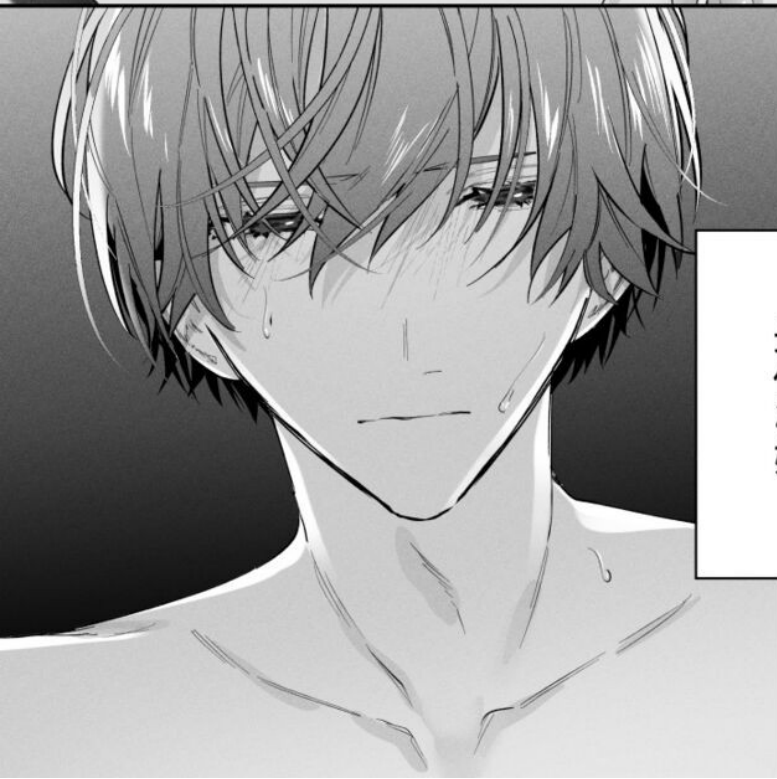
やっぱり
そんなことは
綺麗事でしかなくて



こうすることしか
繋ぎ止められない



自分のものにする
勇気なんてない



最低な奴
俺たち







お互い様でしょ

そっちこそ
フツに音入って
たけどなあ



…一昨日

電話したの
わざとだろ

牽制でも
したつもり？



どう？
人のものを
横取りした気分は

ふざけるなよ

芽衣は兄貴の
ものじゃないだろ

お前のものでもないよ

そんなことは
分かっている

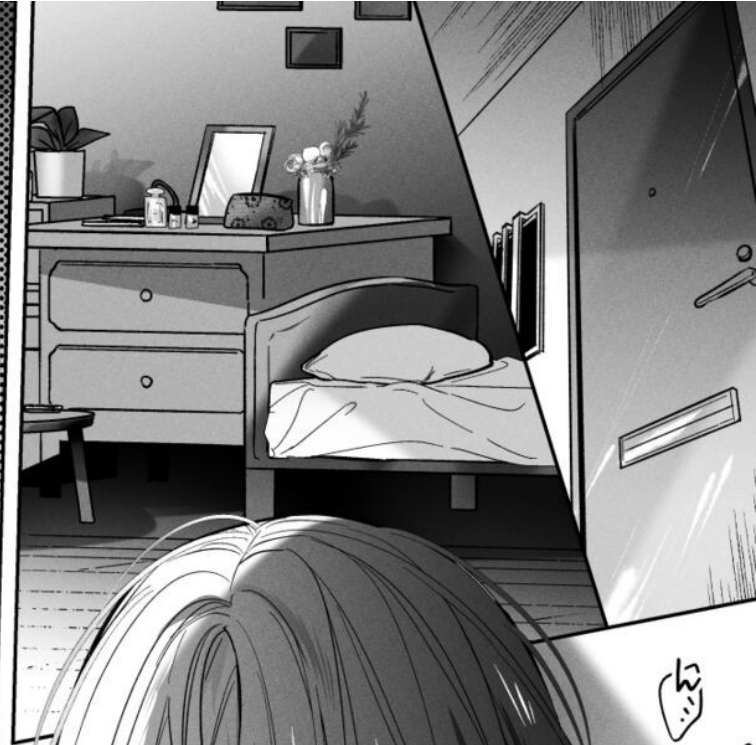
分かっているのに

……じゃ
行くから

先に進めない
俺たちは
何もできない

この関係も想いも
彼女に悟られないように

今日も良い人の
フリをして過ごしてる





自分の本当の気持ちも
言えないくせに

こんなことを
している私も相当...

はッ

早く...

言わなきゃ

私は

本当は――





好み赴くまま
好き勝手に描きました。
どうしよう、
予想以上にドロっと…
でも愛のあるクズは好物です。
芽衣はどちらを
選ぶのでしょうか。
この続きは余裕があれば
またいつか…(3P描きたい…)

※他サイトへの転載、
アップロード等は禁止といたします。
Haikey/になこ275
275ninako@gmail.com

*反動でイチャラブが描きたくなくなったので
冷徹王子3の制作もはじめました。
またどこかでお会いできれば幸いです。